

ふるさとの文化財散歩

久保地遺跡出土品 市指定有形文化財第二十六号

久保地遺跡は宝小学校的の建築に伴い、昭和五十四年三月から四月にかけて都留文科大と日本大学の二つの考古学研究会の協力を得て調査発掘された遺跡で、カベヤ遺跡としても古くから知られていました。

調査の結果、縄文時代前期から中期(約二千年の間)の集落跡三十四軒が、折り重なるように発見されました。この間には富士山が噴火した事もあり、厳しい自然や生活環境の中から生み出された特

徴ある土器などを発掘することができました。

その出土品のうち、今回は有孔(ゆうこう)鑄(ちゅう)付き土器についてご紹介します。

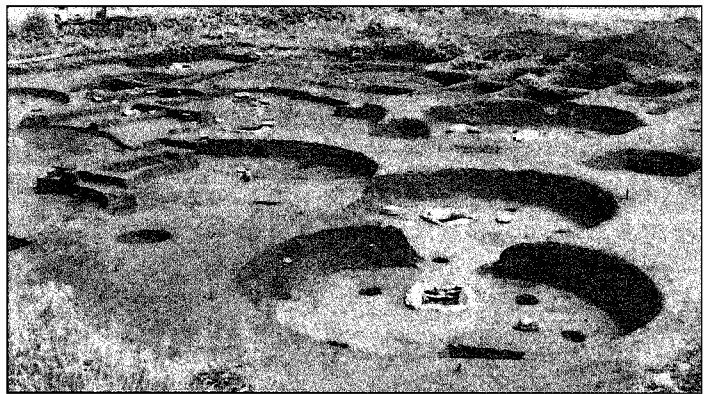
有孔とは、穴のあいていることをさし、鑄とは土器の周囲の突起をいい、その奇妙な形状から何に使われたのか論議が別れていますが、近年は酒の醸造器であったという説が有力となってきました。また、この土器が発掘された炉の傍からは、火山灰にうもれていたものの、深鉢形と椀形の土器がまるで、ついさっきまで、使われていたかのように置かれていたとのこと。

生出山山頂遺跡出土品 市指定有形文化財第二十七号

生出山山頂遺跡は太平洋戦争中油の不足を補うために松根油を取る松の伐採をした折、土器も出土したため遺跡の存在が知られていて昭和四十六年に立ち入り調査が行われましたが、昭和五十二年五月に生出山の採石事業に伴って久保地遺跡と同様に両大学の考古学研究会の協力を得て本格的な調査発掘された遺跡です。この結果、都留市で発見された住居跡で最も古い時期の縄文時代前期のものとして小竪穴四軒が発掘されました。

また、併せて弥生時代中期の条痕(じょうこん)土器片と磨製石斧四点及び平安時代の坏形(づがた)土器片が出土しました。

なぜ、この遺跡が山頂にあったのかは、四方の展望が利き、あまり広すぎない平坦地と湧水に恵まれたこの地で、富士山の火山活動の様子がわかり、火山灰の影響が少ないなどにより、この地を選んだのだと推測されます。また、池にまつわる老人や白蛇の伝説などにも表れているように清らかな信仰の地であったことも推測されます。



第三回市民フォーラム

期 日 7月28日(日)
午後2時~4時
場 所 文化会館
テ ー マ 「産業振興をめざしたふるさとづくり」
基調講演 「韮崎市商店街活性化の取り組みについて」
講 師 小林 修
問合先 SANNIキャンパス
タ共同組合理事長
ウン都留を創造する市民
の会 事務局 奥 隆行
☎(43)3132

尾県郷土資料館からお知らせ

- ・麦ワラの虫かごづくり
- ・篆刻教室
- ・78回転のレコード音楽鑑賞会
- ・ホタルの観察会開催

初夏の土曜日の午後、あなたも明治初期のかおりを残す尾県郷土資料館におでかけになったら、いかがでしょうか。

講師は尾県郷土資料館協力会会員の方々です。

日時 7月20日(土)

午後1時30分~9時

会場 尾県郷土資料館 他

参加・問合先 尾県郷土資料館

(火・木・土・日・祝日)

午前10時~午後4時

☎(45)0675

参加申込締切 7月18日(木)



ふるさとの

七月

- 7日 七夕
- 10日 四万六千日 普門寺
- 15日 お天王さん(祇園祭)
- 24日 愛宕地蔵祭 長安寺
- 25日 お天神さん 天神社
- 27・28日 都留市体育祭 鍛冶屋坂
- 28日 奉納相撲 太宰府天神社(境)
- 8月1日 石船神社祭 石船神社